

# 船橋市野球協会感染予防対策ガイドライン

令和2年7月27日改訂

船橋市野球協会

## 1. 【はじめに】

市民野球大会の活動再開に伴い「日本スポーツ協会のガイドライン」及び船橋市における「基本的基準」の方針を遵守することを前提に、感染予防対策に十分な配慮をしながら大会の運営を再企画することとした。

## 2 スポーツイベント開催時・実施時の感染防止予防策チェックリスト

・感染防止のため船橋市野球協会が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所に掲示します。

・各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認します。

・障がい者や高齢者など利用者の特性にも配慮します。

・万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分に注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた書面について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存します。

・市民野球大会、試合後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合、速やかに船橋市教育委員会 生涯スポーツ課に報告します。

## 3 当日の参加受付時の対応 受付は各球場グラウンド内で行う。(屋外)

・受付時には、手指消毒剤を設置します。

・発熱や軽度であっても咳、咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる）

・人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮断します。

・参加者が距離を置いて並べるように目印の設置等をします。

・受付を行うスタッフは、マスク着用厳守します。

・参加者から健康チェックシートの提出を求めます。

## 4 船橋野球協会が準備すべき事項

### ・手洗い場所

・手洗い場には、石鹸（ポンプ式）を用意する。

・手洗いは30秒以上等の掲示をします。

・手洗い後の手を拭くためのマイタオルの持参を参加者に求める。

・手洗いが難しい場合の為に、アルコール手指消毒剤を用意します。

### ・更衣室・休憩・待機スペース

・広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けるようにします。

・ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限します。

・室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること。

・換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮します。

・スタッフが使用する際は、入退出の前後に手洗いを徹底します。

### ・洗面所

・トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒します。

・トイレの蓋を閉めて汚物を流すように表示します。

・手洗い所には石鹼（ポンプ型）を用意します。

・手洗いは30秒以上等の掲示をします。

・手洗い後に手を拭くためのマイタオルを参加者に持参を求めます。

#### ・観客の管理

・観客も参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らして対応します。

・大声の声援を送らないことや会話を控えることを観客にお願いします。

・会話をする場合にはマスクを着用すること等を観客にお願いします。

#### ・ゴミの廃棄物

・鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密封して縛り、ごみを回収する人は、マスクや手袋を着用することを徹底します。

・マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹼と流水で手を洗い、手指消毒することを、徹底します。

### 5【感染予防対策①】大会開催時における注意事項

#### (1) チーム（参加者）への事前注意事項

大会参加に際して、感染拡大防止のために参加者に遵守すべき事項を、明確にして、協力を求めることを通知いたします。なお、協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。

選手は大会参加の際は健康管理上、十分な準備期間を設けて下さい。

・発熱、咳、倦怠感などの風邪症状及び味覚嗅覚を感じない者の参加を認めない。

又、14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者も参加を認めない。

・選手、チーム関係者、役員、審判員は球場に入る際、必ずマスクをすること。又、試合時の攻守交代決定時や大会運営側並びに審判員からの諸注意をチームに伝える場合は、各自マスクを着用すること。

・手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットの励行をお願いします。

・大会当日には参加者全員の健康状態と連絡先など明記されている名簿（健康チェックシート）を提出してください。

屋外利用施設内における、唾、痰を吐く行為を厳禁とします。

・感染者が発生した場合には、大会を中止にすることもあります。

・大会参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する場合がある。

#### (2) 参加者の対応

・参加者は、検温を実施し球場に来てください。

・チーム代表者は（健康チェックシート）を大会本部に提出してください。

・人との距離を2メートル確保し、ベンチ内では一定間隔を保つように努力してください。

・練習及び試合において、全選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控えてください。

・チーム内及び大会において、感染者が発生した場合は、チームの活動停止とします。

・競技中のマスク着用については、選手、審判員の判断とするが、ベンチ内に居る時には、全員がマスク着用を推奨します。ただし熱中症予防に配慮してください。

\*本協会では、球審はマスク着用することが望ましいが、軟式野球の競技環境及び競技の特性を考慮し

選手並びに球審のマスク着用の義務づけは行わない。

- ・肌が触れ合うハイタッチなどは行わず、各自コミュニケーション方法を模索してください。
- ・ゴミは各自持ち帰ってください。
- ・応援者については、観客席が「蜜」にならないように、一定の距離を保って観戦するようにチームごとで応援者に注意喚起を行ってください。なお、運営側でも、入口などに張り紙を貼付したり、放送による呼びかけを実施します。

### (3) 運営側の対応

- ・参加チームだけでなく、大会運営スタッフや審判員にも健康チェックを要請する。
- ・練習場所及び試合会場には、消毒液などを設置する。
- ・大会開催の際は、試合間のインターバルを通常よりも長く設定し、選手並びに関係者の密集のリスクを回避する工夫をする。

例えば、次のチームは、前のチームが全員退出し、入口での密集を避けてグラウンドに入る。

- ・選手やチームを集めるなど、密集することの無いように配慮する。

例えば、試合前の整列は、監督又はキャプテン同士の挨拶とし、両チームが整列する事を省く。など（オーダー交換時に説明し、試合前の集合はしない。）

大会運営は、慣例や慣習を見直し、特段試合等に支障が無い事は感染予防対策を優先として、大会運営側とチーム側の創意工夫の対策を講じるように努める。

- ・万が一、感染者が発生した場合には、船橋市野球協会に速やかに報告、船橋市野球協会は、速やかに船橋市教育委員会に報告する。
- ・チーム内及び大会において、感染者が発生した場合は、チームの活動停止並びに大会の即中止を判断し、関係者に連絡する。
- ・万が一、感染者が発生しても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることがないように配慮する。
- ・観客が入る場合は、密集・密接にならないように配慮し、大声での応援なども控えるように協力をお願いする。

## 6 【感染予防対策②】 各チームの日々の活動における注意事項

上記の注意点に加え日々の活動から以下の点について注意する。

### (1) 毎日体調チェックを行い、下記に該当する場合は参加を見合わせる。

- ・体調が良くない場合、または以下の症状が少しでも疑われる場合。  
(例) 発熱、咳、咽頭痛、息苦しさ、倦怠感、嗅覚や味覚の異常等の症状
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。

### (2) 3つの蜜【密閉・密集・密接】を回避する。

- ・活動中、それ以外の場面も含め、周囲の人とできるだけ2m以上の距離を空ける。  
(介助者や誘導者の必要な場合を除く)
- ・高度の高い運動は呼吸が早くなるため、より一層距離を空ける。
- ・走るトレーニングにおいては、前の人の影響を受けるため、可能であれば前後一直線に並ぶことをさける。

### (3) 新しい生活様式にのっとり、感染予防の意識を持つ。

- ・マスク持参の上、移動時や着替え時等のスポーツ活動以外の際には、できるだけマスクを着用する。
- ・マスクを外して活動する場合は、十分に周囲の人との距離を空ける。マスクを着用して活動の場合は、運動強度をおとす。

- ・目・鼻。口に極力触らないよう心掛ける。
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- ・プレー中に必要以上の大きな声で会話や応援等はしばらくの間は我慢する。
- ・タオル、ペットボトル、コップ等の共有は避ける。
- ・飲食については、指定場所で、対面を避け距離も考える。
- ・健康チェックシートを活用し、日々の体調の変化を記録する。
- ・活動後2週間以内に新型コロナウイルス感染症に感染した場合は、速やかにチームに連絡する。チーム責任者は活動後にチーム内に感染者が発生した場合は、船橋市野球協会に速やかに報告、船橋市野球協会は船橋市教育委員会に報告する。

#### 船橋市野球協会への報告事項

発症年月日、性別、年齢、連絡先、カテゴリー（学童・少年・一般等）

直近の活動参加日、場所、参加人数、転帰（感染した後の状況）

\*連絡先はチーム責任者の連絡先が望ましい。又、個人情報の提供は強制ではない。

#### 7 感染症拡大予防対策に必要と思われる物品について（船橋市野球協会が準備する物品）

- (1) 非接触型体温計（主に受付・救護）
- (2) 飛沫防止用パーテーション（主に受付）
- (3) 消毒液（手指、ドアノブ、器具等の多くの人に触れるところ用）
- (4) ハンドソープ（主に手洗い場・トイレ）
- (5) 使い捨てペーパータオル又は参加者持参のタオル等（主に手洗い場、トイレ）
- (6) マスク（主に救護員・運営員・参加者）
- (7) 使い捨てゴム手袋（主に救護・受付・表彰）
- (8) フェイスシールド（主に救護・受付）

\*利用施設において予備を含め十分に準備されている場合は、利用施設と協議の上、準備しておく。

#### 8 【熱中症対策について】日々の活動、大会、試合開催時共通の注意事項

感染症対策と共に熱中症対策も徹底してください。

気温や湿度の上昇に伴って熱中症になりやすくなります。又、新型コロナウイルス感染症の影響からスポーツ活動が自粛され、基礎体力が低下していることが予想されます。この状況下において急激な運動負荷は、けがや故障のリスクが高まるだけでなく、熱中症のリスクも高まります。又、夏場のマスク着用での生活は多くの人が体験したことのない状況であると思われますので選手や指導者のみならず、大会役員や観戦者等の全ての人において熱中症への一層の警戒が必要です。

##### 【指導者・コーチが特に注意する点】

- ・屋外で2m以上の距離が確保できる場合は、熱中症リスクを考慮し、マスクを外させる。  
活動参加者がマスクの着用を希望した場合は、呼吸が激しくなるような運動を控えさせる。
- ・各自水筒等を準備するように指導し、休息や水分補給の時間を積極的に設ける。
- ・子ども（特に低身長者）は地面からの照り返しの熱の影響をより受けやすい等を考慮する。
- ・成長期であることを考慮し、個人のペースに合わせた活動を考える。
- ・障害予防の観点からも活動の強度や時間を段階的に高め、筋力、持久力の回復に努める。  
感染後、復帰した者については、より身体機能の低下が予想されるため、特に活動の強度や時間に注意する。
- ・保護者の活動参加についても、他人との距離を取り、感染予防を徹底するようお願いする。

## 9 役員、審判、スタッフ等の食事、休憩の対応

- ・密集・密接・密接にならないように少人数で交代で食事をする。(対面には座らない)
- ・隣の席とは2mを目安に距離を取るようになります。
- ・食事の前後に手指の消毒やテーブルなどの消毒を徹底します。
- ・会話は控えて、食事が済んだらマスクを着用します。
- ・コップ等の使い回しはせずに、専用の食器を用意します。

\*下線部が改訂事項になります。

以上